

GK キャンプを振り返って（スタッフコメント）

小林 忍（川崎フロンターレ）

今年度の川崎アカデミープロジェクト GK キャンプは日帰り型のベーシックコースを 2 回、宿泊型のスキルアップコースを 1 回行いました。昨年までは対象選手を県トレセンレベルの選手としていましたが今年度は川崎市 3 種年代の全選手とし、できるだけ多くの選手に刺激を与える機会を設けました。3 回のキャンプを通じて延べ 85 人の選手が参加してくれて川崎市 GK のボトムアップができたのは大きな成果だったように感じます。また、このキャンプには高津高校、橘高校の GK 選手にもサポートしていただき 2 種年代と 3 種年代の GK 選手の交流も図ることができました。今回の GK キャンプをきっかけに選手それぞれが感じ取ったものを自チームの活動にいかしてほしいと思いますし、今後 GK の専門的指導を継続的に受けれるような環境整備も行っていきたいと思っています。多くの方々の多大なる協力により今年度も大きな事故や怪我なく無事に終えることができました。GK キャンプに参加されたすべての皆さんに改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

藤澤 紘平（川崎市立橘高等学校）

この GK キャンプは今年で 4 年目となりました。1 年目の参加数は 10 名程度でしたが、今回は延べ 80 名を超える GK 選手が参加してくれました。川崎のサッカー環境を整備し、より多くの GK 選手を育成する目的に向かって前進できていることを実感しています。また、1 年目に参加した選手が高校生となり、今回の GK キャンプにアシスタントコーチとして参加してくれました。「川崎の子ども達を川崎で育てる」という川崎アカデミープロジェクトの理念を継承する選手に育ってくれて、本当に嬉しく思います。これからも川崎の GK 選手が成長する場、サッカーをもっともっと好きになるきっかけを創っていきますので、GK 選手の皆さん、楽しみにしててください！

林 大輔（神奈川県立住吉高等学校）

初めて 3 種の選手達と触れ合う機会でしたが、GK コーチがいない環境でトレーニングを積んでいる彼らにとって今回のような指導を受けられることは何か大きなきっかけとなったと感じております。

これからも選手達により多くこのような指導を受けることができる環境を提供できればと思います。

中江 瑞紀（GROW FC）

今年度の GK キャンプベーシックコース、スキルアップコースに参加してくれた選手の皆さまありがとうございます。川崎市内の同じ GK で練習をし、切磋琢磨するだけでなく、寝食共にする。今回の GK キャンプを経て、新しい仲間が出来たと思います。GK キャンプで経験したことはこれからのサッカー人生だけでなく、人としてもとてもプラスになる経験だと思います。

私は川崎を離れて東京で指導をしています。こういった取り組みは中々ないので、選手のみならず恵まれていると思います!!私の現役時代にこうした専門的な指導を受けられたら、もう少しプレーヤーとしての可能性が上がっていたかも知れません。

今回の GK キャンプは色んな大人が川崎のために動いて実現したものです。関わってくれた色んな方に感謝の気持ちを忘れずにこれからもサッカー頑張ってください!!